

令和 3 年 1 月 23 日

## 議題 靴の柔軟性測定装置の導入について

日本学生ライフル射撃連盟北海道支部

令和 3 年度幹事長 山田響子

北海道支部での靴の柔軟性測定ゲージの購入とフォローアップ検査での測定の導入を提案する。

競技規則で、用具の検査について次のような規定がある。

GTR6.7.9.1 (略)次に明示された競技後検査項目を通過できなかった場合、失格(DSQ)となる。

a)ライフル種目：射撃用服装（ジャケット，ズボン，靴，グローブ），下着，テーピングおよびライフル銃の規格（該当するならば引き金の重さを含む）。（略）

### RR7.5.2.3 靴底の柔軟性基準

選手の使う靴の底は，測定装置に靴をはさんで踵の部分に 15Nm の力を加えたときに，22.5° 以上曲がらなければならない。

競技規則に定められていることから，フォローアップ検査においては靴底の柔軟性を測定する必要がある。だが今まで北海道支部ではこれを測定できるゲージを所有していないために，測定されてこなかった。

今回の提案に至る理由は以下のとおりである。

- 1)規則として定められている検査を行えないこと自体に問題がある。
- 2)他支部（九州支部を除く）は学連で測定ゲージを所有している。九州支部は県ラが所有しているため借りることができる。北海道では道ラも所有していないために借りることもできない。
- 3)インカレ等で他支部管轄の大会に出場しフォローアップ検査に選出された際，初めて測定して基準を満たせずに失格となる可能性がある。

今後の計画を次のように提案する。

#### ・購入

シースジャパンで販売されている測定ゲージ（ゲーマン製日ラ検定品 367,000 円，R2/11/16 現在）を購入する。購入には予備費を使用する。

#### ・フォローアップ検査での導入

2 月の学連練習会までに購入し，練習会にて学連員に測定方法の周知および希望選手への事前検査を行い，春学から検査項目に加えたいと考える。万が一練習会での事前検査で基準を満たさない選手があまりにも多数いた場合，春学では臨時的に基準を満たさなくても DSQ ではなく警告とする，などの措置を検討する可能性もある。